

1. 檜山荘の概要

施設の概要

(1) 事業者

事業者の名称	社会福祉法人 檜山荘（特別養護老人ホーム）
法人所在地	〒719-3141 岡山県真庭市上市瀬1050番地39
代表者氏名	理事長 井口 欽也
施設長名	荘長 原 章 裕
事業開始	1973年（昭和48年） 5月 1日

事業の種類 (介護保険法)		岡山県知事の事業者指定		利用定数
		指定年月日	指定番号	
施設	特別養護老人ホーム	H12年4月1日	長寿第1248号	60人
	短期入所生活介護	H12年4月1日	岡山県指令長寿第1-105号	6人
	地域密着型特養	H26年5月1日	真高齢100号	20人
	居宅介護支援事業	H11年10月1日	岡山県指令長寿第1-1615号	休止
放課後児童健全育成事業		H31年4月1日	放課後児童クラブきやまっこ	40人

(2) 事業の目的と運営の方針

事業の目的	<p>利用者に日常生活を営むために必要な居室や共用施設等を利用いただき、それぞれ個人の能力に応じ、できるだけ自立した日常生活を送ることができるように支援することを目的としています。</p> <p>檜山荘は、身体上又は精神上著しい障害がある為に常時の介護を必要とし、かつ、居宅においてこれを受けることが困難な方がご利用いただけます。また、地域密着においては個室によってプライバシーが保たれる等、自分の時間を大切にさせていただきます。</p>
施設運営の方針	<p>基本理念 『和の心』</p> <p>“なごやかな顔と思いやりのあるやさしい言葉を交わす中で「ありがとう」という言葉をかけあうことによって、豊かな人間関係を培うことを信条としております。”</p> <p>利用者の意思及び人格を尊重し、常にその方の立場に立って介護福祉施設サービスの提供に努めます。施設は、明るく家庭的な雰囲気の中で、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行います。また職員が一丸となって日々研鑽してより専門的な介護サービスの提供に努め、リスクマネジメント機能の徹底を図り、安心、安全な日常生活の支援を行います。</p>
施設の行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者・利用者家族の満足（人を大切にします） 2. 職員・職員家族の満足（職員を大切にします） 3. 地域・地域住民の満足（地域を大切にします）

(3) 施設の概要

① 建 物

敷 地	13,169.41㎡	
建 物	構 造	鉄骨造 地上2階建
	延べ床面積	3,534.23㎡
	利用定員	多床室 60人(短期6人) 地域密着個室ユニット 20人

② 居室その他

1 F

2 F

室の種類	室 数	室の種類	室 数
1人部屋	20	1人部屋 (短期用)	6
リビング	2	2人部屋	4
キッチン	2	4人部屋	13
特 浴 室	1	静養室	1
座位式機械浴室	1	食 堂	1
地域交流機能訓練室	1	特 浴 室	1
		座位式機械浴室	2

③ 職員体制 (主たる職員)

1 F

職 種	人員	職 種	人員	
施設長 (兼務)	1	介 護 ・ 看 護 職 員	看護師	1
嘱託医師 (兼務)	0 (1)		機能訓練指導員 (看護師)	1
生活相談員兼介護支援専門員	1		介護福祉士 エントリーダー (2)	9
管理栄養士 (兼務)	1		実務者研修	1
栄養士	1		ヘルパー2級	1
調理員 (兼務)	5.4		介護福祉士 (パート)	0.5
事務職員 (兼務)	2		生活支援 (兼務)	2
宿 直 (兼務)	3		合 計	29.9(1)

2 F

職 種	人員	職 種	人員	
施設長 (兼務)	1	介 護 ・ 看 護 職 員	看護師・看護師 (パート)	5.8
嘱託医師 (兼務)	0 (1)		介護福祉士	23
生活相談員兼介護支援専門員	2		その他 (介護職・看護師)	2.4
管理栄養士 (兼務)	1.3		その他 (パート)	1.1
調理員 (兼務)	5.4		宿 直 (兼務)	3
機能訓練指導員・レク担当	3		生活支援 (兼務)	2
事務職員 (兼務)	2		合 計	52.0(1)

2. 施設サービス

【1F 地域密着型特養】

〈基本方針〉

施設は、明るく家庭的な雰囲気、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、職員が一丸となり専門的な介護サービスの提供に努めた。また、危機管理意識を高め、リスクマネジメント機能の徹底を図り、安心・安全な日常生活支援を行った。

〈介護サービス〉

ユニットケアを実践し、利用者一人ひとりの個性や生活のリズムに寄り合い、今までの暮らしが継続出来るようにサポートをした。また自立の支援や日常生活の充実に向けて他者との人間関係を築きながら、日々の生活を維持するような介護を行った。

(食事)

- ・個々の身体状況に配慮した食事を提供した。
- ・個人の生活習慣に基づき可能な限り、意向や希望に即した食事に配慮した。

(時間、場所等の環境面も十分配慮)

	人数	比率(%)	食事形態	人数	比率(%)
自分で可能	11	55.0	常食1	5	25.0
一部介助	4	20.0	常食2	6	30.0
全面介助	4	20.0	全粥食	0	0
経管栄養	1	5.0	ミンチ食	3	15.0
			流動食	4	20.0
			経管栄養	1	5.0
			療養食	1	5.0

3月31日現在

(排泄)

- ・利用者のプライバシー・羞恥心に十分配慮した上で、状況に応じた適切な排泄介助を行い、排泄の自立についても利用者の能力(潜在能力)を把握、理解した上で適切な援助を行った。

			人数	比率(%)
排 泄	終日パンツ及び 紙パンツ	自立	1	5.0
		介助	11	55.0
	昼のみパンツ及び 紙パンツ(WC・PT利 用)	見守り一部介助	0	0.0
		全介助	1	5.0
	終日オムツ			7

3月31日現在

(入浴・整容等)

- ・週2回の入浴または清拭を行った。
希望浴を実施し、希望に応じて週3回入浴できるよう調整した。
- ・寝たきり等で座位の取れない方は、機械を用いての入浴。
生活のリズムを考え、毎朝夕の着替えを行うよう配慮した。
- ・適切な整容援助。シーツ交換は、週1回実施。

		人数	比率(%)	衣 服 着 脱			人数	比率(%)
入 浴	一般浴・座位式機械浴	14	70.0			自分で可能	1	5.0
	特浴	6	30.0		一部介助	8	40.0	
	洗 身 ・ 洗 髪	自分で可能	0	0		全面介助	11	55.0
		一部介助	5	25.0				
		全面介助	15	75.0				

3月31日現在

(機能訓練)

- ・個々の身体機能に応じ、個別訓練計画を作成し実施することで、筋力低下予防、拘縮悪化予防等の機能低下予防に努めた。
- ・日々の生活の中で個人の持っている力・潜在能力を最大限に引き出すような関り、ケアに努め、個人の出来る事を大切にし、活用する事(生活リハビリ)で身体機能の維持、低下予防に努めた。

		人数	比率(%)	
移 動	自立歩行	1	5.0	
	杖等の歩行補助器使用	0	0	
	車椅子	自分で可能	6	30.0
		介助	13	65.0

3月31日現在

	実地 日数	参加 者数	電気治療	運動訓練	起立訓練	座位訓練	歩行訓練	作業療 法
4月	30	20	367(12.2)	37(1.2)	10(0.3)	9(0.3)	37(1.2)	0(0.0)
5月	31	20	418(13.5)	31(1.0)	15(0.5)	14(0.5)	42(1.4)	0(0.0)
6月	30	20	475(15.8)	77(2.6)	24(0.8)	24(0.8)	64(2.1)	3(0.1)
7月	31	20	499(16.1)	93(3.0)	16(0.5)	20(0.6)	50(1.6)	2(0.1)
8月	31	20	330(10.6)	49(1.6)	7(0.2)	6(0.2)	54(1.7)	1(0.03)
9月	30	20	296(9.9)	53(1.8)	14(0.5)	2(0.1)	44(1.5)	1(0.03)
10月	31	20	312(10.1)	95(3.1)	7(0.2)	22(0.7)	30(1.0)	0(0.0)
11月	30	20	258(8.6)	91(3.0)	7(0.2)	17(0.6)	21(0.7)	0(0.0)
12月	31	20	277(8.9)	73(2.4)	16(0.5)	21(0.7)	20(0.6)	0(0.0)

1月	31	20	288(9.3)	87(2.8)	16(0.5)	19(0.6)	30(1.0)	2(0.1)
2月	28	20	177(6.3)	99(3.5)	18(0.6)	22(0.8)	31(1.1)	4(0.1)
3月	31	20	356(11.5)	116(3.7)	20(0.6)	23(0.7)	37(1.2)	3(0.1)
計	365	240	4053(11.1)	901(2.5)	170(0.5)	199(0.5)	460(1.3)	16(0.04)

〈認知症利用者の対応〉

ユニット全体を家庭的な雰囲気にし、落ち着いた心身状態をつくる様に働きかけた。利用者の認知症状を正確に把握し、利用者の症状に合わせた介護、利用者の有する機能(潜在能力)を十分に活用しADLの維持向上に努めた。またADLの機能低下については様々な障害(脳の器質的障害により知的・認知・運動機能の低下、注意集中の困難や意欲の低下等)が考えられる方に関しては、これらの障害に対しては十分な理解と情報を共有し、介護の統一を図り精神的な不安を取り除くことで、利用者の精神安定に努めた。

具体的な取り組み：アセスメントから評価・記録等の流れを理解し徹底

アセスメント⇒計画⇒モニタリング(観察・評価)⇒再アセスメント

職場研修：認知症実践者研修・認知症リーダー研修・各種認知症研修・セミナー等。

〈看取り介護〉

多職種協働体制の下で利用者及び家族の尊厳を支えるよう努め、可能な限り尊厳と安楽を保ち、看取り介護の充実に向けて意思向上を目指した。

意思疎通が不可能になり回復不能な状態に陥った時、本人、家族の意向を尊重して行った。

6名の入居者様が亡くなられ、2名の方に対し看取り介護を実施した。

〈運営推進会議〉

コロナ感染症防止の観点から5月・7月は開催を中止した。また9月からは感染対策を徹底し会議を再開した。

隔月(奇数月)に運営推進会議を開催し、市職員、ボランティア2団体の代表者、家族会、民生委員白梅団地自治会長で構成され、入居者様の状況・稼働率報告・ヒヤリハット・アクティビティ報告をし、評価を受け、助言を頂いた。その他、ソフト食や高栄養食品の試食をした。

〈アクティビティ〉

(個人の意向に添った趣味活動)

習字・塗り絵・生け花・散歩・野菜作り・クッキング等、随時行った。

(四季折々の行事)

4月：花見

5月：開設記念ランチ

8月：迎え火・送り火(迎え団子作り・送り団子作り)

10月：秋祭りランチ

12月：クリスマスランチ・餅つき・お正月用生け花

1月：とんど

2月：節分

3月：おひな祭り

※今年度は、コロナ禍のため外出を控え荘内で行事を行った。

【2F 特養】

〈基本方針〉

概ね基本方針に基づき、事業の運営が出来たと思われる。

2Fフロアの年間目標を作成共有し、職員全体で目標に向けて業務努力を行ったが、コロナ禍で外部研修等への参加機会が持てず、オンラインによる施設内研修を行った。

コロナ対応でフロアを分け業務を行っており、記録ソフトを活用し情報共有を行う事が出来た。各種行事についても状況を見ながら、施設内で行う事になった。

コロナ対応については、緊急主任会議を度々開催し、常に新たな予防対策に努めた。

〈介護サービス〉

重度化が進み生活の中で介助や見守りが必要な利用者が増え、職員の負担も大ききなところであるがフロアを分けた事もあり、各部会会議、各班でのケアカンファレンスを行い介護サービスの充実にも努めてきた。

コロナ対応のため面会制限をしていたが、タブレット面会・窓越し面会等工夫しながらご家族に安心していただけるように努めた。また家族の方に、写真や近況報告を送付した。

インカムを取り入れた事により、多職種連携ができ、介護支援がスムーズに出来るようになった。

〈認知症利用者の対応〉

個人に合わせた環境整備や、安心を感じられるような雰囲気作りを個別検討の中で話し合い、落ち着いた心身状態を保つ中で穏やかな生活が送れるように努力した。

コロナ禍のため、施設内研修のみの実施となった。施設内研修ではあるが、職員の認知症に対する理解や対応方法の共有と統一を図るよう努めた。

(認知症対応実践研修やリーダー研修への参加は順次受講していく)

〈看取り介護〉

意思疎通が不可能になり回復不能な状態に陥った時、本人の意思を尊重し家族の意向を尊重した介護を行った。

栄養や水分摂取の状態が低下し、著しく体調の変化が見られる様になった時には家族に連絡し本人の様子を確認してもらい、入所時の意向の再確認と共に「看取り介護」について、当施設のパンフレットを使用し説明を行っている。医師や医療機関と多職種協働体制の下、利用者・ご家族の尊厳と安楽で安心して看取り介護が受け入れられるように努めた。

入院時の場合には医師と家族のICにも同席し、施設での看取りの受け入れも行った。

死亡後には各ケアカンファレンスのメンバー職員でデスクカンファレンスを行い、看取り介護の充実を図り、文書で家族に内容を知らせる取り組みも行った。

〈リハビリ〉

1. 計画及び目的

* 『明るく楽しく元気よく』をスローガンに穏やかな生活を送って頂くために、個人訓練プランに基づき個人に合ったリハビリテーションやレクリエーションを行う。

* 寝たきり予防として離床を目的に、『その時々喜びを大切に』にしたレクリエーション、各種行事を利用者と共に行う。

* 個人訓練は機能の維持や精神活動の低下予防等を目的として行う。

* 日々の生活を楽しくするために、四季にあったレクリエーション活動を行う。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	個人訓練	個人訓練	個人訓練	個人訓練	個人訓練	
午後	個人訓練	個人訓練	個人訓練	個人訓練	個人訓練	

以上、リハビリテーションマニュアルにより行う。

		人数	比率(%)	
移動	自立歩行	2	3.6	
	杖等の歩行補助器使用	1	1.8	
	車椅子	自分で可能	8	14.3
		介助	45	80.3

3月31日現在

2. リハビリ参加者状況表

	訓練 実施回数	入所訓練 参加人数	ショート利用者 訓練参加人数	運動訓練 参加人数	立位訓練 参加人数	歩行訓練 参加人数	電気治療 参加人数
4月	17	55	8	233(13.7)	36(2.1)	26(1.5)	253(14.9)
5月	18	59	0	65(3.6)	72(4.0)	41(2.3)	293(16.3)
6月	22	58	0	106(4.8)	99(4.5)	55(2.5)	528(24.0)
7月	20	58	0	95(4.8)	86(4.3)	50(2.5)	446(22.3)
8月	18	57	0	100(5.6)	70(3.9)	49(2.7)	385(21.4)
9月	19	57	0	148(7.8)	51(2.7)	44(2.3)	410(21.6)
10月	21	56	0	81(3.9)	78(3.7)	43(2.0)	433(20.6)
11月	16	57	0	68(4.3)	82(5.1)	34(2.1)	391(24.4)
12月	14	59	0	71(5.1)	65(4.6)	32(2.3)	301(21.5)
1月	14	56	0	230(16.4)	0	0	0
2月	19	57	0	81(4.3)	104(5.5)	40(2.1)	337(17.7)
3月	24	56	0	137(5.7)	122(5.1)	61(2.5)	454(18.9)
計	222	685	8	1415(6.4)	865(3.9)	475(2.1)	4231(19.0)

部会・委員会

〈アクティビティ部会〉

- ・コロナ禍で思うように行事が出来なかったのは残念だったが、密にならないように工夫しながら活動できた。(2カ月に一度の誕生日会・おやつレク・習字等)
- ・利用者の状態低下が顕著に見られる為、お誕生日会・おやつレク習字等アクティブ活動については今後検討をしていく。

〈栄養食事部会〉

- ・美味しく安全に食事摂取できた。
- ・誕生日の希望献立、季節感のある行事食等の提供を行った。
- ・利用者の状態に合わせた個々の食事形態等を担当者を交え、各部署で相談しながら随時提供できた。
- ・感染症対策のため、居室での食事提供が増えたが細目な消毒や環境管理にも気を付ける事が出来た。
- ・口腔ケア物品管理にも配慮でき、個々に合った方法で行う事ができた。

	人数	比率(%)	食事形態	人数	比率(%)
自分で可能	24	42.8	常食1	1	1.8
一部介助	4	7.1	常食2	6	10.7
全面介助	22	39.3	全粥食	7	12.5
経管栄養	6	10.8	ミンチ食	23	41.1
			流動食	13	23.2
			経管栄養	6	10.7
			療養食	0	0

3月31日現在（短期利用者含）

最近の傾向として、利用者の重度化や慢性疾患を抱えられている方が増えてきている。嚥下機能の低下が進行し、自力摂取出来る利用者が減少傾向にあり、安全に食事が摂取できるような施設全体での取り組みが課題となっている。嚥下状態や体調に合わせた食事形態の工夫や、行事食の提供、誕生日には利用者ご本人の食べたい物を提供する等、美味しく楽しい食生活を送っていただけるよう工夫を行っている。

令和3年度活動目標

1. 個々に合わせて、美味しく安全に食事が摂取でき、季節を感じられるような献立を提供する。
2. 利用者様の誕生日には、希望に沿った献立でお祝いをする。

〈入浴排泄部会〉

(入浴)

- ・浴室の模様替えをし、特浴にカーテンを設置する事でプライバシーに配慮できた。
- ・入浴カードを利用し、インカムで連絡しあう事でスムーズに入浴できた。

		人数	比率(%)			人数	比率(%)
入浴	一般浴・座位式機械浴	18	0.34	衣服着脱	自分で可能	2	3.6
	特浴	38	0.66		一部介助	8	14.3
	自分で可能	0	0.05		全面介助	46	82.1
	一部介助	9	0.05		自分で可能		
	全面介助	47	0.90				

3月31日現在

(排泄)

- ・トイレ誘導やオシメ交換時等に臀部や陰部の状態を観察しながら、定時に排泄ケアを行ったり回数を増やすなど個々に合わせた排泄ケアを行った。

			人数	比率(%)
排泄	終日パンツ及び紙パンツ	自立	4	7.1
		介助	5	9.0
	昼のみパンツ及び紙パンツ(WC・PT利用)	見守り一部介助	0	0
		全介助	6	10.7
	終日オムツ		41	73.2

3月31日現在

〈褥瘡トランスファー部会〉

- ・個人に合ったクッションを使用し、褥瘡や拘縮の予防に努めた。
- ・車椅子や移乗方法を検討し、安全に行った。
- ・コロナ禍で研修に行く事が出来なかった。

〈身体抑制検討部会〉

- ・抑制をしないといけない方が増え、その中で検証はしっかりと行うことができた。
- ・抑制解除も何名か行う事ができ、センサーマット等も必要に解除できた。
- ・インカムを使い、声を掛け合う事で記録の記入漏れを減らす事ができた。
(記入については漏れの無いよう意識していく)

～ 共通 (1F・2F) ～

〈檜山荘内行事〉

1. 主な行事

- * 開荘記念日 . . . 5月 1日
- * 誕生日 . . . 地域密着は当日花束を贈りお祝いをし、本人の好みの献立食を用意
2F 特養はお誕生日会を2カ月に一度、2カ月間の誕生日の方を対象に
開催し、おやつレクを行い、花束を贈りお祝いをした。
また、本人の誕生日には好みの献立食を用意した。
- * 夏祭り . . . コロナ禍で中止
- * 敬老会 . . . 9月23日
- * クリスマス . . . ケーキを配る
- * 節分豆まき . . . 2月3日
- * 真庭消防本部の指導 . . . 4月10日
総合防災訓練 . . . 昼間：5月27日 夜間：8月26日
避難、誘導、その他の訓練 (毎月1回 コロナ禍で12月・1月は出来ていない)

〈家族会〉

前年度より必要に応じての開催にしたが、コロナ禍でもあり中止

〈地域交流〉

白梅団地住民会総会を地域交流室にて開催
ささえ愛ネット モノバンク (制度の狭間の方を物資で支える支援)
檜地区自主防災組織 (災害時緊急避難所)

〈健康管理〉

嘱託医師が週2回診察に訪れ、健康管理に努めた。

緊急時等必要な場合には主治医あるいは協力医療機関等に責任を持って引き継いだ。

利用者が外部の医療機関に通院する場合は、必要に応じて職員が付き添い安心して受診出来るよう配慮した。また、緊急時には消防署に救急車を要請し対応を行った。

真庭保健所の方に来荘頂きコロナウイルス対策についての説明、ゾーニングについての指導を受けた。

〈防災管理〉

防災管理について必要な事項を定め、火災、震災、水害等すべての災害から利用者、職員、その他施設に出入りするすべての人の身体の保護安全を確保できるよう真庭消防設備・消防団の協力を得ながら総合防災訓練を年2回（5月・8月）開催した。隔月で職員による防災訓練を行った。また、フロア会議で連絡事項を報告し、アンケートを取り防災訓練等に役立てた。備蓄品については必要物品についていくらか確保しているが、これからも整備をしていく。

〈苦情処理〉

苦情報告書を作成し、フロア会議等において苦情内容を報告し、迅速に対応することで早期解決に努めた。施設長より職員の言動及び態度に関する注意を促し、再発防止に努めた。

〈安全管理〉

ヒヤリハット・事故報告書等を提出し分析を行い、事故の発生防止に取り組んだ。また、ヒヤリハット・事故報告書の分析や事故防止対策委員会を定期的で開催し、結果を基にヒューマンエラーを可能な限り防止する等、利用者の安全管理に努めた。施設内研修にて事故防止についての研修会を年2回行い、職員に周知徹底し、人権擁護・虐待防止・事故防止・感染症予防・認知症ケア研修等を行った。

〈組織管理〉

利用者や家族、その他関係者に対して、誠意を持って対応した。個人情報保護に関する法令、その他の規範を遵守し、個人情報の保護に努めた。介護施設の職員としての意識を高め、質の高い介護・看護サービスの提供が行えるように職員研修を実施した。
※事故防止研修(2回/年)、感染症予防研修(2回/年)、人権擁護研修、褥瘡研修・認知症ケア研修・看取りケア研修を計画的に実施、その他施設内外での研修や視察研修などの機会や体制を確立した。
※緊急時においては、施設長が状況に応じた対策委員会を招集した。
コロナウイルス対策委員会等

〈その他〉

行政機関に対する手続きが必要な場合には、利用者及びご家族の状況により、代わりに行った。

その他のサービス

理容・美容・・・有料にて随時、実施

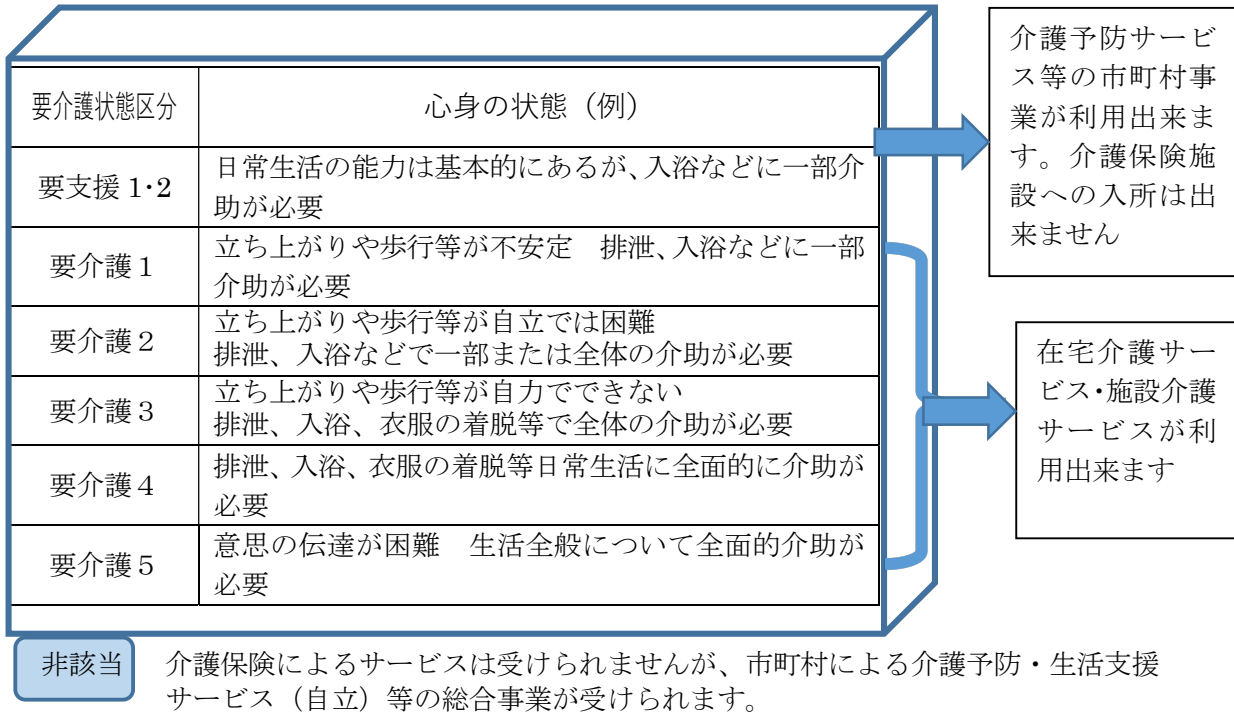
日常生活用品の購入代行・・・利用者及びご家族が自ら購入が困難である場合は、購入代行サービスを利用

金銭管理・・・自らの手による金銭の管理が困難な場合は、金銭管理サービスを利用

管理する金銭等の形態：中国銀行又は津山信用金庫に預け入れ、施設で管理

3. 利用の資格と方法

- ① 65歳以上で要介護認定が介護度（3～5）と認定された人。
- ② 40歳以上64歳未満で、特定疾病により要介護度（3～5）と認定された人。
（但し、①②で要介護1・2の場合でも市が認めた場合は特例入所が可能）



4. 利用者の状況

1. 要介護度別人員

【1F ユニット】

R 3年3月31日

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度	合計
人数	0	1	3	8	8	4.15	20

【2F 特養】

R 3年3月31日

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度	合計
人数	0	3	7	22	24	4.2	56

2. 利用者の性別・年齢別構成

【1F ユニット】

R 3年3月31日

	～70	71～75	76～80	81～85	86～90	91～100	101～	最高齢	平均年齢
男	0	0	1	0	0	2	0	95	89.0
女	0	0	0	4	3	10	0	99	91.5
計	0	0	1	4	3	12	0	99	91.1

【2F 特養】

R 3年3月31日

	～70	71～75	76～80	81～85	86～90	91～100	101～	最高齢	平均年齢
男	1	1	0	3	3	2	0	94	84
女	0	4	4	8	11	16	3	105	88.4
計	1	5	4	11	14	18	3	105	87.6

3. 在荘期間の状況

【1F ユニット】

R 3年3月31日

	1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年以上	計	平均在荘期間
男	1	1	0	1	0		4	1年9か月
女	5	2	2	3	5		16	3年4か月
計	6	3	2	4	5		20	3年1か月

【2F 特養】

R 3年3月31日

	1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年以上	計	平均在荘期間
男	5	0	4	1	0	0	10	1年6か月
女	11	3	7	11	5	9	46	4年3か月
計	16	3	11	12	5	9	56	3年9か月

4. 令和 2年度入退所者 (R2年4月1日～R3年3月31日)

1F 地域密着型特養				2F 特養			
入所者		退所者		入所者		退所者	
真庭市	6	死亡	6	真庭市	20	死亡	20
市外	0	入院・他施設		市外	1	入院・他施設	1
		帰宅				帰宅	
計	6	計	6	計	21	計	21

5. 施設の利用状況

1 F 地域密着

令和 2年度

月	実人員	延べ日数
R2年4月	20	600
5月	20	600
6月	20	600
7月	20	620
8月	20	577
9月	20	541
10月	20	571
11月	20	567
12月	22	562
R3年1月	20	587
2月	21	529
3月	20	587
合計	243	6,941
平均	20.3	578.4

2 F 特 養

令和 2年度

月	実人員	延べ日数
R2年4月	60	1,672
5月	60	1,822
6月	60	1,667
7月	60	1,763
8月	61	1,794
9月	59	1,686
10月	57	1,726
11月	59	1,715
12月	59	1,759
R3年1月	57	1,673
2月	59	1,569
3月	57	1,739
合計	708	20,585
平均	59	1715.4

短期入所生活介護事業所 令和 2年度

月	実人員	延べ日数
R 2年 4月	22	65
5月	12	51
6月	19	60
7月	20	65
8月	18	53
9月	18	61
10月	15	53
11月	14	57
12月	13	43
R 3年 1月	9	36
2月	13	52
3月	16	51
合計	189	650
平均	15.8	54.2

その他

児童放課後クラブ きやまっこ

活動目標 … 気持ちの良い挨拶が自らできる子供

利用児童数・・・ 月平均児童者数 37名

開設日数 …… 年合計日数 286日

6. 役員

役職	氏名	役職	氏名
理事長	井口 欽也	評議員	井手紘一郎
理事	宮島 啓人	評議員	安井 清
理事	西原 正信	評議員	樋口 勲
理事	味埜 泰明	評議員	鳥越 康生
理事	薬師寺厚夫	評議員	大月 隆行
理事	原 章裕	評議員	妹尾 隆志
		評議員	岸本 真
監事	大月 喜雄	評議員	赤木 将城
監事	福田 浩治	評議員	近藤 和夫

《役員会》

- * 令和 2年 5月14日 監事による監査
- * 令和 2年 5月20日 決算報告 理事 監事
- * 令和 2年 6月 4日 決算報告 評議員 理事 監事
- * 令和 2年 7月22日 旧施設の一部解体について 理事 監事 評議員
- * 令和 2年12月 3日 定款変更、規定改正について 理事 監事
- * 令和 3年 3月11日 補正予算 評議員 理事 監事

《地域密着型特養》

2カ月に1回予定でしたが、コロナ禍にて5月・7月は中止し、感染対策に考慮し9月より地域住民・市役所・民生委員・ボランティア団体等を交えての運営推進会議を開催

檜山荘施設サービス利用料金表

(多床室料)

(円)

負担段階	介護度	介護費	日常生活継続加算	看護体制加算(I)	栄養ケア	機能訓練	夜勤職員配置加算	居住費	食費	1日負担計	1か月負担計	介護処遇改善加算
第4段階	介護度1	559	36	12	14	12	16	855	1,392	2,968	91,989	一月の単位数に 8.3% +2.7%を 乗じた 単位数 (1月単位 で四捨五入 とする)
	介護度2	627	36	12	14	12	16	855	1,392	3,043	94,329	
	介護度3	697	36	12	14	12	16	855	1,392	3,120	96,738	
	介護度4	765	36	12	14	12	16	855	1,392	3,196	99,078	
	介護度5	832	36	12	14	12	16	855	1,392	3,271	101,383	

(ユニット料)

負担段階	介護度	介護費	日常生活継続支援加算	看護体制加算(I)	栄養ケア	機能訓練	夜勤職員配置加算	居住費	食費	1日負担計	1か月負担計	介護処遇改善加算
第4段階	介護度1	646	46	12	14	12		2,006	1,392	4,209	130,457	一月の単位数に 8.3% +2.7%を 乗じた 単位数 (1月単位 で四捨五入 とする)
	介護度2	714	46	12	14	12		2,006	1,392	4,283	132,797	
	介護度3	787	46	12	14	12		2,006	1,392	4,365	135,309	
	介護度4	857	46	12	14	12		2,006	1,392	4,442	137,718	
	介護度5	925	46	12	14	12		2,006	1,392	4,518	140,058	

(短期入所生活介護)

負担段階	介護度	介護費	サービス提供1	機能訓練	夜勤職員配置加算	居住費	食費	1日負担額	介護処遇改善加算
第4段階	要支援1	438	18	12	0	1,171	1,392	3,031	一月の単位数に 8.3% +2.7%を 乗じた 単位数 (1月単位 で四捨五入 とする)
	要支援2	545	18	12	0	1,171	1,392	3,138	
	介護度1	586	18	12	13	1,171	1,392	3,192	
	介護度2	654	18	12	13	1,171	1,392	3,260	
	介護度3	724	18	12	13	1,171	1,392	3,330	
	介護度4	792	18	12	13	1,171	1,392	3,398	
	介護度5	859	18	12	13	1,171	1,392	3,465	

※ 負担限度額は利用者負担段階ごとに定められています。

利用者負担段階	対象となる人(市町村民税世帯非課税)
第1段階	老齢福祉年金受給者、生活保護者など
第2段階	合計所得金額+課税年金収入額が年額で合計80万円以下など
第3段階	合計所得金額+課税年金収入額が年額で合計81万円超など

貸借対照表

社会福祉法人檜山荘

(令和3年3月31日現在)

資産の部	当年度末	前年度末	増減
流動資産	231,398,482	231,177,912	220,570
固定資産	758,693,103	803,403,916	-44,710,813
基本財産	657,912,703	679,227,733	-21,315,030
その他の固定資産	100,780,400	124,176,183	-23,395,783
資産の部合計	990,091,585	1,034,581,828	-44,490,243
負債の部			
流動負債	34,545,369	39,754,493	-5,209,224
1年以内返済予定設備資金借入金	22,000,000	22,000,000	0
固定負債	325,722,693	346,830,597	-21,107,904
設備資金借入金	286,000,000	308,000,000	-22,000,000
退職給与引当金	39,722,693	38,830,597	892,096
負債の部合計	360,268,062	386,585,190	-26,317,128
純資産の部			
基本金	160,828,406	160,828,406	0
国庫補助金等特別積立金	77,400,533	82,231,541	-4,831,008
次期繰越活動収支差額	391,594,584	404,923,691	-13,342,107
純資産の部合計	629,823,523	647,996,638	-18,173,115
負債及び純資産の部合計	990,091,585	1,034,581,828	-44,490,243